

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)
インターネット ホームページURL	https://www.smb.jp/personal/agency/ index.html

公告方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりです。 http://www.kk-mitsuboshi.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)
証券コード	5820

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



ホームページアドレス <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。



☆☆☆☆
2020 Business Report

第76期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

証券コード 5820



企業理念

三ツ星は「誠意・熱意・創意」を基本姿勢とし、
品質・価格・物流の最適化を図り、
お客様により高い価値を提供してまいります。

ポリマテック事業

お客様との共同開発で高付加価値製品を創造

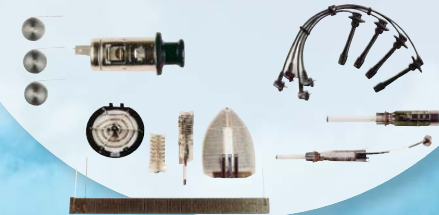
ポリマテック事業部門ではお客様からの商品企画について、その構想段階から製品設計、試作等の共同開発を行い、製品を納入するという受注生産を基本としてお客様とともに歩む姿勢を貫いています。主製品としては建築用ガスカート類・手摺り・配線カバー・幅木などで、施工性の良さと品質面等で高い評価を得ています。また、環境対応というテーマからプラスチック廃材の再生利用にも力を入れ取り組んでおり、社会的貢献の面からもその役割は重要なもので、さらなる取り組みを推進しています。



電熱線事業

電熱線分野で開発した高度の品質と技術を保有 高品質の製品とサービスを提供いたします

電熱線・抵抗線で線径0.04mmまでの極細線を量産製造し、品質面および技術面でお客様から高い評価をいただいております。さらに、お客様のニーズに応えるため、0.02mmまでの極細線の製造も可能にしました。また、伸線および圧延のコア技術を多角的に展開し、モリブデン帯の製造やハステロイ、インコネル、インコロイといった高機能材料の伸線・圧延等にも積極的に取り組んでいます。



電線事業

素材を究めた信頼性で 業界トップシェアを獲得

多彩な製品ラインアップ。あらゆる現場のニーズに対応します。
キャブタイヤケーブルをはじめとする各種電線は、天然ゴム・合成ゴム・プラスチックなどを主原料としています。三ツ星では、これら素材の特性を最大限に引き出し、つねに高品質な製品を生産し続け、多くのお客様より高い信頼を獲得してきました。これからも製品ラインアップを豊富に取り揃えることで、あらゆる現場でのニーズに対応。過酷な用途に耐え、作業の効率化や安全性、省コスト化に貢献できる製品づくりを目指します。



株主の皆様へ

To Our Stockholders

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第76期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 競 良一



■ 事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として収束がみえない新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動の制限を受けて厳しい事業環境となりました。

日本国内においても、緊急事態宣言解除後、企業の動向としては一部需要の持ち直しの動きがありますが、まだまだ本格的な回復には時間がかかるような状況であります。

また海外においても、各国において状況に応じての地域におけるロックダウンや、出入国規制が解除されない状況により、販売活動が後ろ倒しになってきております。

当社グループにおきましても、従業員の健康や安全を確保等、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、生産量・販売量に合わせた企業活動に努めましたが、当社グループに関連する設備投資や公共投資、住宅建設関連の市場の落ち込みを受け、厳しい事業環境となりました。

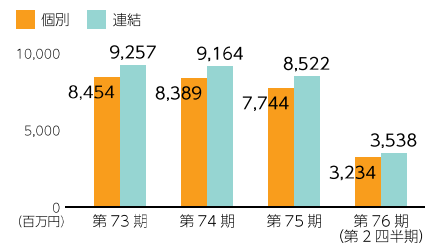
このような状況の中、当社グループが一丸となり、生産性の合理化やコスト削減を徹底し、販売強化や収益確保の努力を行った結果、第2四半期においても、第1四半期に引き続き黒字化が確保できました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,538百万円(前年同期比17.9%減)、営業利益は81百万円(前年同期比32.3%減)、経常利益は131百万円(前年同期比11.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は91百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

財務ハイライト

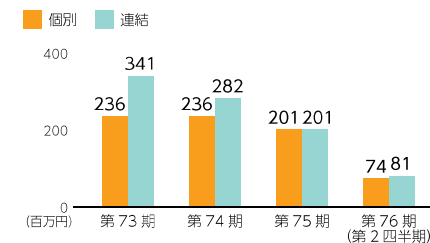
Financial Highlights

売上高



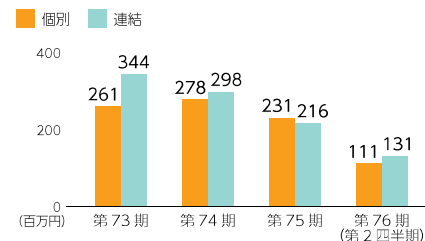
グループ全体で減収となったため、前年同期に比べ減収となりました。

営業利益



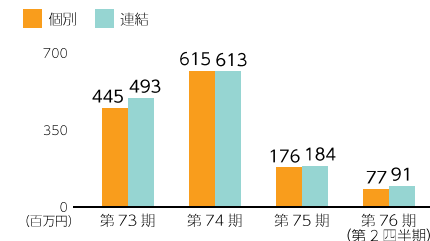
電線事業では増益となりましたが、ポリマテック事業および電熱線事業において減益となったため、グループ全体では前年同期に比べ減益となりました。

経常利益




一時帰休による雇用調整助成金の収入により、前年同期に比べ増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



経常利益の増益に伴い、前年同期に比べ増益となりました。

電線事業



売上高の推移

期	売上高 (百万円)
第74期	6,115
第75期	5,536
第76期 (第2四半期)	2,308

商品紹介

業界トップシェアを誇る【キャブタイヤケーブル】

600V以下の移動用電気機器、配線等に使用されるキャブタイヤケーブルを主製品とし、その他多目的産業用キャブタイヤケーブル、溶接用ケーブルなど、産業用電線ならニッぽという定評をいただいております。

当第2四半期連結累計期間の活動報告

当事業の主要な市場である建設・電販向けは、緊急事態宣言解除後に新型コロナウイルス感染者が拡大したこともあり、建築、設備投資等の需要が減退したことと工事用電線の荷動きが鈍く、また営業活動が制限されたことの影響もあって、ゴム電線、プラスチック電線の出荷量は前年同期より減少することとなりました。

また、フィリピン政府がロックダウンを実施したこと、子会社での生産、出荷遅延により売上が減少するなど、売上高は2,308百万円と前年同期より減少する結果となりました。


利益面につきましては、経費削減や新価格上昇分を販売価格に転嫁させたことで、85百万円と落ち込みを抑えることができました。

2020年8月には、AI-WCT(アルミ溶接ケーブル：通常のWCTより重量が約50%ダウンし、作業性にも優れている)の販売を開始し、Webを活用しての製品説明会や電話セールス等も活用して、PRを実施いたしました。

2020年2月に竣工した技術開発センターで技術部と営業部が連携し、新分野開拓や新製品創出への取り組みをスピードアップして実施しております。また、作業者が納入後直ぐに使用できる加工製品の研究開発にも注力しております。さらに当社の強みでもある海洋、河川土木などで使用できる災害用ケーブルも継続して開発中であり、社会貢献できるような製品開発にも取り組んでおります。

また、水中用電線やロボット用電線の開発では、大阪大学、金沢工業大学や民間企業の力を借り生産連携の形で進めております。

ポリマテック事業



売上高の推移

期	売上高 (百万円)
第74期	2,306
第75期	2,276
第76期 (第2四半期)	940

商品紹介

オフィスから暮らしまで、幅広いニーズと市場

住宅建材からOA機器分野、産業資材分野まで、省コスト仕上げの高品質により高い評価を得ています。木材複合樹脂やプラスチック廃材を再生利用した製品は、これからの環境対応というテーマからも注目されています。

当第2四半期連結累計期間の活動報告

新型コロナウイルス感染症の影響を受け当事業に関連の深い新設住宅着工件数が前年同期比約14%減と大きく減少し既存の住宅関連顧客からの受注が減り、全体の売上高は940百万円となりました。

この内、機能樹脂関連は、大手得意先の生産調整の影響を受けた結果、売上高は47百万円となりました。

当社を取り巻く業績は依然として厳しく、新設住宅着工件数は減少する予測になっておりますが、一方ではリフォーム(増設、設備等の修繕)は微増が見込まれております。

下期の市況は上期と比較して同等か緩やかに回復していくと見込んでおりますが、業種によって特に住宅建材の回復は遅れると予測しております。

利益面に関してはコロナ禍の中、取扱案件を確実に受注できたこと、公共工事関連部材が順調に伸びてきていることにより既存先の受注減を若干カバーし、生産性の改善や材料ロス低減等に取り組んできましたが、受注量の減少に伴う生産性の低下が大きく影響し、営業損失は2百万円となりました。


下期はコロナ禍の中、検討していた発泡製品、大型製品に前向きに取り組むさらなる販促活動に注力いたします。

新規開拓に関しては、新規得意先候補を絞り集中訪問を実施し見込み案件を成約されるまで進捗した新規得意先候補には引き続き訪問し取引開始につなげます。

自社開発製品に関しては、上期にサンプル作製した抗菌、抗ウイルス等、手の触れる場所への環境対策関連の製品について顧客情報を収集し上市につなげてまいります。

また、海外展開に関しては、国際事業部と連携し上期に獲得した取扱案件により、フィリピン既存先への一層の売上を見込んでおります。

電熱線事業



売上高の推移

期	売上高 (百万円)
第74期	743
第75期	709
第76期 (第2四半期)	288

商品紹介

伸線・圧延技術力を活用した事業展開

この家庭にもあるヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫、テレビといった家電製品向け製品のほか、自動車のシガレットライターや高圧ケーブル、電子機器向けの製品を開発するなど、幅広い分野での活用が期待されます。

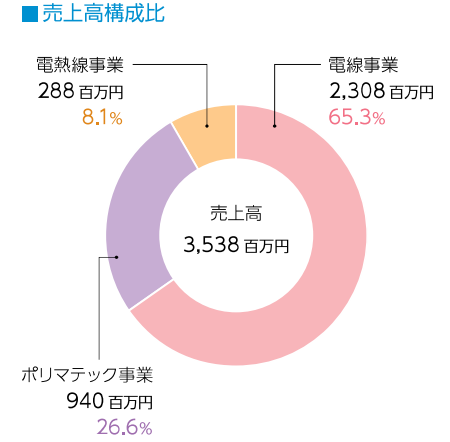
当第2四半期連結累計期間の活動報告

当事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により世界全体の経済が停滞しております。その影響により得意先の工場稼働の調整などもあり、産業機器、白物家電、自動車、抵抗器などすべての販売分野において前年同期と比べて受注が大幅に減少いたしました。このため、ヒーター関連部材等での新規開拓や販売単価の高い細線および帯製品の販売強化に取り組んできましたが、売上高は288百万円となりました。

利益面では、経費の抑制、新工場による生産性の向上に取り組んできましたが、受注(生産量)の減少による影響が大きく、営業利益は0百万円となりました。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響により、すべての販売分野にて低況に推移する恐れがありますが、従来の電熱線事業に加え関連性のある部材、製品の販売にも着手するとともに、高ニッケル合金の新規種類の製造・販売、比較的販売単価の高い細線および帯製品の販売に注力し自動車、抵抗器関連への新規開拓および海外市場での案件獲得を回り収益の改善に取り組んでまいります。

新工場では、適切な生産設備の配備による生産効率の向上に取り組み、引き続き原価低減を図ってまいります。また今後、各分野、各企業、国内外において様々なリスクを分散させるためにサプライチェーンの見直しが行われることが予想されますので、そのような場合には新規開拓の機会とするよう取り組んでまいります。



1. 技術部の設立

2020年2月に竣工した技術開発センター(滋賀県甲賀市)で技術部と営業部が連携し、新分野開拓や新製品創出への取り組みをスピードアップして実施しております。

また、2020年7月、各事業部から独立した組織として新たに技術部を設立いたしました。



2. ホームページの改訂

2020年9月、当社のホームページを一新いたしました。

各事業、各商品をわかりやすくご提示させていただくとともに、特に当社の強みである水回り関連のビジネスについて詳しくご説明いたしております。

また、日本語だけでなく英語・中国語のページも整備しております。

ホームページアドレス

<http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>



3. 新製品のご案内

(1) 溶接用ケーブルセットの販売開始

この度、当社では溶接用のケーブルを加工した製品の販売を開始いたしました。

ご使用用途別に4種類の溶接用加工品のラインアップを揃えております。



(2) アルミ溶接ケーブル『AL-WCT』の販売開始

アーク溶接機の2次用ケーブルとしてご使用いただける『アルミ合金導体』を使用した製品です。従来の溶接用ケーブル(WCT)に比べ大幅な軽量化を実現。溶接作業への負担軽減が図れます。



(3) フロートケーブルの販売開始

キャブタイヤケーブル自体に浮力を持たせ水に浮くケーブルです。現在、黒色、青色、黄色をラインアップしております。

水周りで使用される三ツ星製品

キャブタイヤケーブルはこのようなところで使われています。

- 河川工事で利用
 - 発電機⇔水中ポンプ
- 海中で利用
 - 発電機⇔水中ハックホウ
 - 水中ブルドーザー
 - 発電機⇔水中溶接
 - 発電機⇔水中掃除ロボット

問題点と現状の解決方法

問題点
海流に流されたり、絡みやすいため、作業効率が悪くなる。

解決方法
ケーブルに浮力を持たせ、水に浮かせる。

浮き
→ 浮力を持たせたケーブルは、絡みやすさが軽減され、作業効率が高まります。

ではどうすればよいのか？

キャブタイヤケーブル自体に浮力を持たせて水中に浮かばせればよい!!

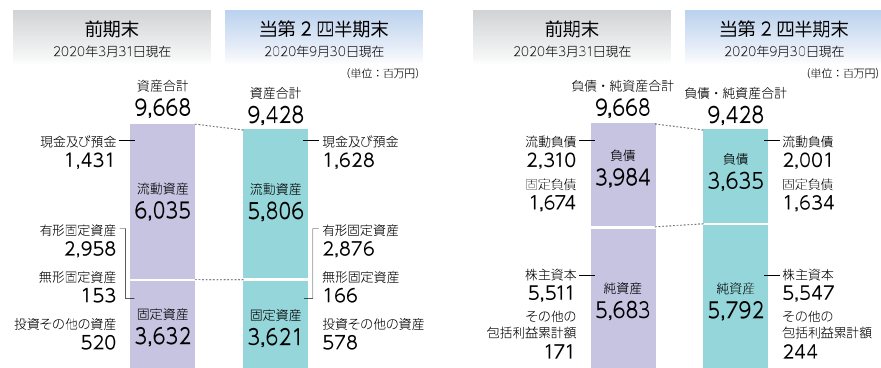
こうして、誕生したのが**フロートケーブル**です。

内部構造はどうなってる？

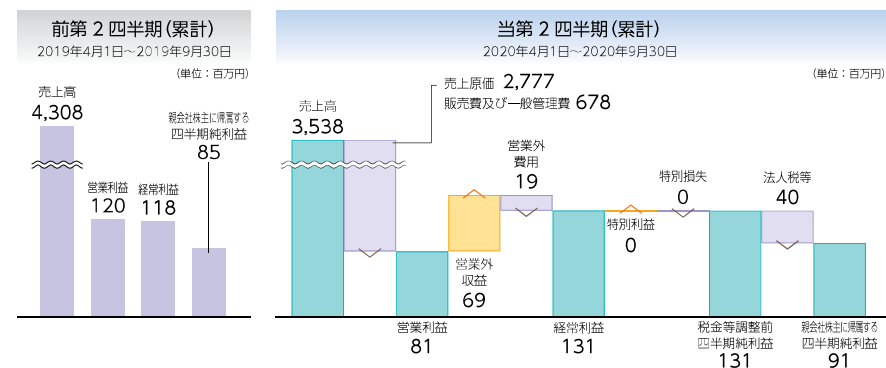
通常のケーブルを発泡被覆材で覆うことでケーブルに浮力を持たせることができる。

例：使用ケーブル (S-VCT 4X3.5mm)

■ 連結貸借対照表



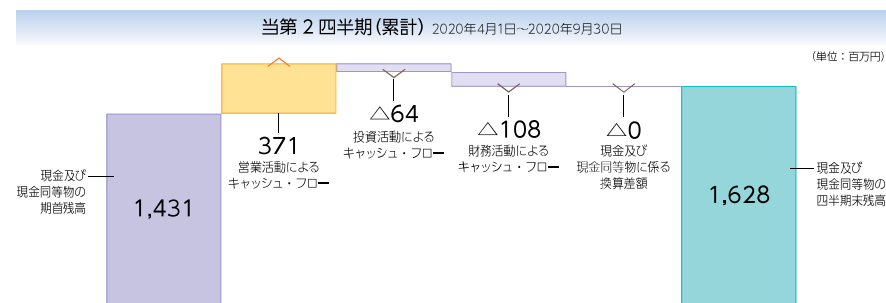
■ 連結損益計算書



ポイント
解説

- 総資産額**
 前期末に比べ2億40百万円減少し、94億28百万円となりました。
 これは主に受取手形及び売掛金の減少があったことによるものです。
- 負債総額**
 前期末に比べ3億49百万円減少し、36億35百万円となりました。
 これは主に電子記録債務の減少があったことによるものです。
- 純資産総額**
 前期末に比べ1億8百万円増加し、57億92百万円となりました。
 これは主にその他有価証券評価差額金の増加があったことによるものです。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書



株式の状況 / 会社概要

Stock Information / Corporate Profile

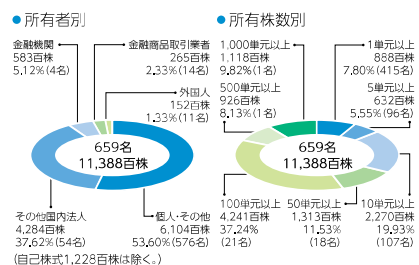
株式の状況 (2020年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 3,800,000株
- 発行済株式の総数 1,143,833株
(自己株式122,822株を除く。)
- 株主数 780名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ツカモト	111,800	9.77
スリースター有限会社	92,630	8.10
津田電線株式会社	38,600	3.37
吉野友裕	33,100	2.89
舟橋盛彦	32,400	2.83
三井住友信託銀行株式会社	29,400	2.57
石田英明	23,700	2.07
西崎ひとみ	23,045	2.01
株式会社タカミヤ	20,400	1.78
阿部須美子	20,300	1.77

(注) 1.上記のほか、当社が自己株式122,822株を保有しております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (単元株以上)



主要な事業内容

当社グループは、次の製品の製造・販売および仕入商品の販売を行っております。

事業部門	主要品目
電線事業	天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、プラスチックキャブタイヤケーブル、プラスチックコード、その他
ポリマテック事業	プラスチック押出成形品、射出成形品、真空成形品、高能態チューブ、LED関連商品、その他
電熱線事業	電熱線・帯、その他

役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役社長 競 良一
 取締役執行役員 松山 元
 取締役執行役員 前田 康智
 取締役(監査等委員) 小林 明彦 (社外)
 取締役(監査等委員) 大林 良寛 (社外)
 取締役(監査等委員) 中村 健三 (社外)

(注) 1.取締役(監査等委員)小林明彦氏、大林良寛氏および中村健三氏は、社外取締役であります。
2.取締役(監査等委員)小林明彦氏、大林良寛氏および中村健三氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

従業員の状況(当社グループ) (2020年9月30日現在)

(連結) 235名 (76名)
(個別) 162名 (65名)

(注) 従業員数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は()内に6ヶ月間の平均人員を外数で記載しております。

ネットワーク

Network



主要な事業所

当社

本 社 〒541-0053
 大阪市中央区本町一丁目4番8号
 エスリードビル本町5階
 TEL 06(6261)8881(代表)

大阪支店 (電線事業部)
 大阪営業所 (ポリマテック事業部)

〒541-0053
 大阪市中央区本町一丁目4番8号
 エスリードビル本町5階
 (電線事業部) TEL 06(6261)8884(代表)
 (ポリマテック事業部) TEL 06(6261)8885(代表)

東京支店 (電線事業部)
 東京営業所 (ポリマテック事業部)

〒103-0014
 東京都中央区日本橋蛸船町一丁目2番1号
 リーラック第一ビル
 6階 (電線事業部)
 5階 (ポリマテック事業部)

(電線事業部) TEL 03(6897)8660(代表)
 (ポリマテック事業部) TEL 03(6897)8663(代表)

九州営業所 〒815-0081
 福岡市南区那の川一丁目9番19号
 TEL 092(526)2615(代表)

名古屋営業所 〒465-0095
 名古屋市中東区専社一丁目253番地
 一社プラザ4階402号室
 TEL 052(760)4636(代表)

滋賀工場 〒520-3306
 滋賀県甲賀市甲南町柑子1061番地3
 TEL 0748(86)6104(代表)

羽曳野工場 〒583-0867
 大阪府羽曳野市河原城534番地
 TEL 072(939)4561(代表)

シルバー鋼機株式会社

本 社 〒103-0014
 東京都中央区日本橋蛸船町一丁目2番1号
 リーラック第一ビル7階
 TEL 03(5651)7220(代表)

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION

(フィリピン共和国) LOT11 BLOCK12 FIRST CAVITE
 INDUSTRIAL ESTATE
 BRGY.LANGKAAN,DASMARINAS,
 CAVITE,PHILIPPINES4114